

第4章 協働によって期待される効果（他市町村 参考）

自治体名	市にとっての効果
堺市	<p>◆まちづくりの担い手◆</p> <p>市民自らが主体的に活動する市民活動は、先駆性や多様性・柔軟性などさまざまな特性を持っており、これらを活かしながら市民活動団体と協働のパートナーが連携・協働し、これからのまちづくりの担い手となることが期待されています。</p>
四条畷市	<p>【市にとって】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民との対話を積み重ねることで、相互理解に基づく信頼関係が構築できます。</li> <li>・多様化する市民ニーズに柔軟に対応し、施策の効率化を図ることができます。</li> <li>・協働の視点から事務・事業の見直しを行い、協働を積み重ねることで、行政サービスの改善や向上、行政職員の意識改革や組織改革などにつながります。</li> <li>・協働がもたらす行政の能力向上によって、事業経費の効率・効果的な執行やコストダウン、行政組織のスリム化が実現します。</li> </ul>
埼玉県 川越市	<p>【行政】⇒ 効果的な公共サービスの提供・的確な施策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民ニーズに沿ったきめ細かな公共サービスを効果的かつ効率的に提供することが可能となります。</li> <li>○市民ニーズを反映した施策等の立案や事業の実施が、よりの確に行えます。</li> <li>○市民主体のまちづくりにつながり、自治の発展に寄与します。</li> </ul>
※大阪市	<p>【行政にとって】</p> <p>市民活動団体と協働することによって、地域のニーズや社会状況を速やかに取り入れ潜在的な政策課題が把握でき、公平・平等なサービスを原則とする行政では対応が難しい、多様な市民ニーズに対して、迅速かつきめ細かに対応することができます。</p> <p>いわゆる「お役所仕事」を見直すことによって、税金をより効果的・効率的に使うことができ、行政自体もこれまでになかった新たな政策を考えたり課題解決型の組織に変革するきっかけとなります。</p> <p>また、副次的効果として、市民活動団体が市民と行政を直接つないだり、その声を代弁したりすることによって、行政が市民から乖離するのを防ぐ効果もあります。</p>

自治体名	市民にとっての効果
堺市	<p>◆新たな地域コミュニティの構築◆  地域に根ざした市民活動は、市民自らが仲間を増やし、多種多様な分野に関わる人々とのネットワークを構築していく活動です。こうした活動は、地域の住民が助け合うシステムを新たに醸成し、人間関係が希薄になったコミュニティの再生を促すことが期待されています。</p> <p>◆自己実現の機会の提供◆  市民活動は、活動を通して生きがいや自己実現などの満足感を与えることができます。また、さまざまな人との出会いやふれあいの場を提供し、個人が地域や社会とつながる社会参加の場としての役割を果たすものと期待されています。</p>
四条畷市	<p>【市民にとって】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりへの参加意識が高まり、自分が住み、働き、学ぶまちへ愛着が深まります。</li> <li>・地域の実情や自分たちのニーズにあった、柔軟な公共サービスが提供される機会が増えます。</li> <li>・まちづくりや地域活動に参加することで地域との関わりや助け合いの大切さが見直され、地域の自治能力が向上。</li> </ul>
埼玉県 川越市	<p>市民（個人としての市民） ⇒ 公共サービスの向上・公益的な活動への参加機会の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○きめ細かな公共サービスが提供されることにより、満足度が高まります。</li> <li>○地域の課題を主体的に解決していくことにより、自治意識が高まり地域の力が向上します。</li> <li>○公益的な活動へ参加する機会が増加します。</li> </ul>
※大阪市	<p>【市民にとって】</p> <p>市民活動団体と行政とが協働することで、きめ細かで質の高い公共サービスを受けることができます。</p> <p>また市民は、公共サービスの受け手であると同時に、その担い手になる可能性も持っています。協働事業の中で地域の課題が明らかになり、参加型の解決手法が示されれば、その人自身が、地域課題の解決や自治を担う人材になる契機となります。市民の持っている自助・共助の精神や自治の力を伸ばすことができれば、地域力が高まり、地域全体として課題解決能力（自治能力）が高まります。</p>

自治体名	共通の効果
堺市	<p>社会的背景や政策的背景が変化してきている中、市民活動が、その特性である先駆性や多様性・柔軟性を活かし、まちづくりや社会参加を通じて地域資源の有効活用により諸課題を解決し、市民が必要とするサービスを提供する主体として、大きな役割を果たすものと期待されています。</p> <p>◆社会に必要なサービスを提供する新しい力◆</p> <p>市民活動は、直接サービスに関わる市民の視点から、地域の中で感じ得たことを形に表し、市民ならではの先駆性や多様性・柔軟性を活かし活動することにより、社会全体に新鮮な刺激や新しい流れをもたらすことが期待されています。</p> <p>◆新しい雇用機会の提供◆</p> <p>市民活動は、これまでなかった公益的サービスの提供やさまざまな事業の展開により、新たな雇用機会の創出につながることを期待されています。</p>
藤井寺市	<p>① 持続可能な暮らしを支える安心なまち</p> <p>生産年齢人口の減少に伴い、自治体の財源が不足する事態が生じて、また、高齢化等の要因により、まちの課題が増大した場合でも、市民・事業者・行政など、それぞれが力を合わせて課題を解決することで、いつまでも安心して暮らせるまちになります。</p> <p>② 多様な公共サービスが提供できる豊かなまち</p> <p>これまで行政は、公共サービスの多くの部分を担うことを市民から任されてきました。しかし、価値観の変化が進むにつれ、市民ニーズは多様化しています。これまでのような行政単独によるものでなく、事業者や特定分野に詳しいNPO法人といった民間の活力やノウハウを活かすことによって、より充実したサービスが提供できる豊かなまちになります。</p> <p>③ 地域の特性に合わせた個性が輝くまち</p> <p>地域の課題は、そこに住む市民がもっともよく知っています。地域住民も参画しながら行政とともにまちづくりを行うことにより、画一的な手法ではない、地域の実情に合わせた個性が輝くまちになります。</p> <p>④ 市民同士のつながりで支え合う温かいまち</p> <p>藤井寺市は、これまでも近隣に住む人同士のつながりが強いまちですが、こうしたつながりの大切さをみんなが共有することで、自然災害の発生をはじめとする困ったことが起きた場合でも、お互いに助け合うことのできる温かいまちになります。</p> <p>⑤ 一人ひとりの能力が発揮できる元気なまち</p> <p>団塊の世代のかたが定年退職等で地域に戻ってこられるようになりましたが、そのような方々をはじめとする市民の今までに培った知識や経験、能力を発揮していただくことで、このまち全体が活気にあふれ、人と人の交流が盛んになります。また、個々の自己実現が図れることで、生きがいを実感できる元気なまちになります。</p>

※大阪市	<p><b>【共通の効果】</b></p> <p>立場や価値観が異なる相手と協働することで、コミュニケーション能力が高まり、視野が広がります。具体的な事業の実施を通じて、考え方やスキルを学び合うことができます。そのような対話や協力を積み重ねていくことによって、各主体が成長し、信頼関係と対等なパートナーであるとの相互認識が生まれ、協働の効果が増し、幅の広い質の高いサービスが展開され、地域の魅力や大阪の魅力は格段に高まります。</p>
------	---